

## 資料 4

# 国土交通大臣提出資料

# 自動運転社会の早期実現に向けた当面の7つの方策について

○ 自動運転社会の早期実現に向けて、その**推進・連携体制を強化**するとともに、**自動運転車両の開発・普及の促進**や**社会受容性の向上**、自動運転を支える**道路・都市インフラ側の取組**などを強力に進めていく。

## 1 L2++車の本格的な普及

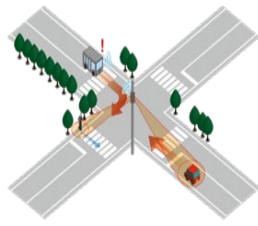
- **優良なL2++車の認定制度**の創設
- L2++車の**開発・普及を促進するための施策パッケージ**を検討
- **公共交通への早期活用**（公共ライドシェアを含む）



L2++車  
（日産・ウェイヴ社（英）のAI搭載）

## 2 より安全・円滑な移動に資する道路の実現

- **ITSインフラ（路車協調システム）の基準類**を策定
- 道路空間のあり方を具体化（**ガイドライン策定**）
- **道路と車両のデータ連携**や**自動運転車両を活用した道路維持管理**に向けた実証等を検討



路車協調システム  
（交差点センサ）



道路空間の再配分



道路維持管理への  
自動運転車導入

## 3 自動運転を支えるまちづくり

- **人中心の駅前広場**の整備
- **居心地がよく歩きたくなる街なか空間**の形成
- **令和の都市リノベーション全国推進運動**等を通じたコンパクト・プラス・ネットワークの推進



人中心の駅前広場の整備（イメージ）

## 4 自動運転の実装による「交通空白」の解消と「観光の足」の確保

- **交通事業のデジタル化・標準化等を加速**し、自動運転等のシステム効果最大化等を実現するため、**地域交通DX（COMmmONS）**を推進
- 交通インフラが脆弱な観光地におけるインバウンドをはじめとする**観光客の移動手段の確保・充実**に向けた**自動運転バスの導入**の促進



バス等のデータに基づく運行管理

## 5 自動運転の社会受容性の向上

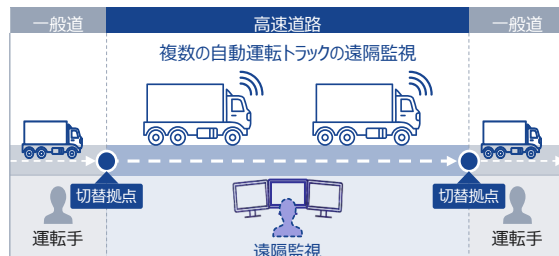
- 自動運転の社会受容性を高めていくため、**体験機会の拡大と信頼の形成**に取り組む
  - ・ 地域での**継続可能なビジネスモデルの構築**に向けた**先行的事業化地域の選定**
- **運輸安全委員会における事故原因究明体制の構築**に向けた検討



自動運転試乗会の様子

## 6 自動運転トラックの社会実装の推進

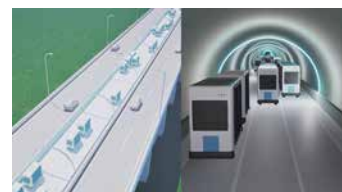
- **自動運転トラックの事業化支援**や**ビジネスモデルの官民での検討**
- 事業者間連携のための**車両の規格化・標準化**や**データ連携**の推進
- 自動運転物流を支える**基幹物流拠点の整備促進**
- **東北道で路車協調**（合流支援、先読み支援等）の実証実験を開始



レベル4 自動運転トラックの早期実装の推進

## 7 多様な輸送モードにおける自動運転の推進

- 道路空間を活用したクリーンな物流システムとして**自動物流道路**を実現
- 空港制限区域内の自動運転車両について、**羽田・成田空港での導入台数の増加**や、**国内空港への導入展開**に向けた検討を推進
- 港湾における**自動化・遠隔操作化荷役機械**の導入促進



自動物流道路のイメージ



空港制限区域内の  
自動運転トローイングトラクター




AGV 積載走行  
出典：飛島コンテナ埠頭株式会社  
コンテナドレージの自動運転

- 自動運転車の実現・普及のためには、自動運転に関する基準の国際基準調和が不可欠
- 我が国は、国連WP29副議長等として、自動運転の国際基準策定に係る議論を主導
- 新たな自動運転の国際基準が2026年6月に合意


## 国連自動車基準調和世界フォーラム ( WP.29 )

日本は、自動運転の分野で主要な議長・副議長等を務める

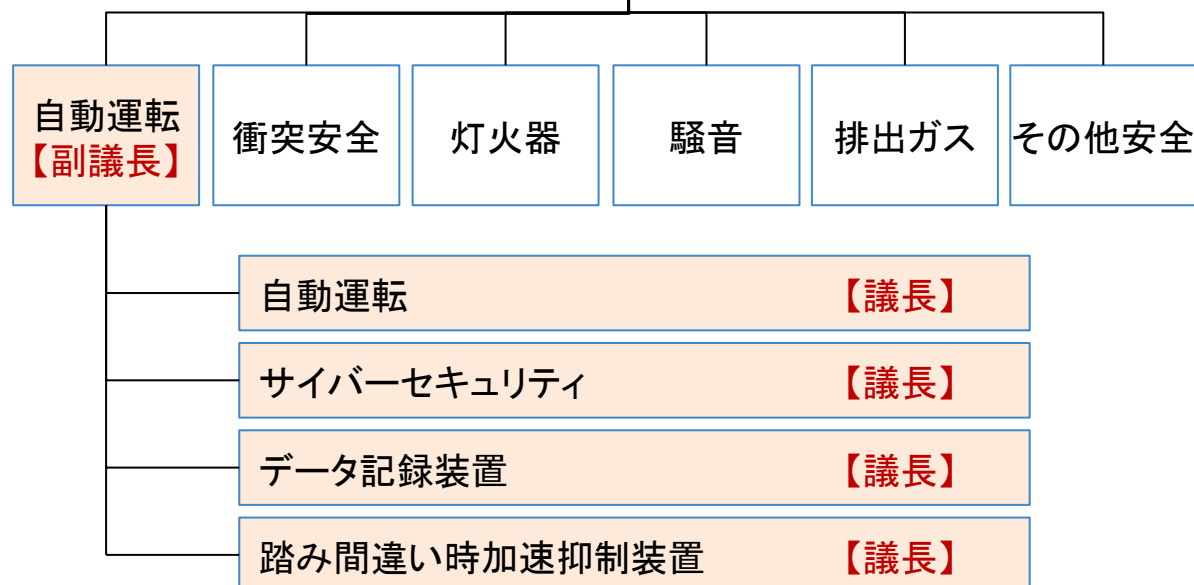
国連自動車基準調和世界フォーラム (WP.29)



**【副議長】**  
※国土交通省職員が務める  
(欧州以外で初、令和5年～)



猶野喬氏



※ 議論には、日本、欧州、米国、中国等、約70カ国・地域が参画

## 自動運転に関する国際基準

### レベル1, 2

- ・衝突被害軽減ブレーキ
- ・自動駐車 (リモコン駐車)
- ・手を添えた自動ハンドル (車線維持 / 車線変更等)
- ・手放しでの自動ハンドル



### レベル3, 4

- ・高速道路におけるレベル3自動運転
- ・自動運転システムの安全性能
- ・自動運転に関する国際基準 (2026年6月合意)